

# 薬剤耐性 (AMR) 対策普及啓発活動の 取組実績及び今後の取組予定について

令和元年11月27日  
内閣官房



# 薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプラン

(平成28年4月5日 国際的に脅威となる感染症対策関係閣僚会議決定)

内閣官房国際感染症対策調整室  
Coordination Office of Measures on Emerging Infectious Diseases



## ➤ 6つの取組分野

1. 普及啓発・教育

2. 動向調査・監視

3. 感染予防・管理

4. 抗微生物剤の適正使用

5. 研究開発・創薬

6. 国際協力

## ➤ 目標：ヒトの抗微生物剤の使用量を33%減

ヒトの抗微生物剤の使用量(人口千人あたりの一日抗菌薬使用量)

| 指標                           | 2020年(対2013年比) |
|------------------------------|----------------|
| 全体                           | 33%減           |
| 経口セファロスポリン、フルオロキノロン、マクロライド系薬 | 50%減           |
| 静注抗菌薬                        | 20%減           |



第4回 国際的に脅威となる感染症対策関係閣僚会議(平成28年4月5日)

- アクションプラン策定以後の各府省における取組状況と今後の取組方針を整理し、令和元年6月25日に“**「薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプラン」に基づく施策のフォローアップについて**”を公表。(※詳細は参考資料3-2))
- 引き続き、1年に1度定期的にフォローアップを行う予定。

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokusai\\_kansen/taisaku/dai7/index.html](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokusai_kansen/taisaku/dai7/index.html)

# 薬剤耐性 (AMR) 対策推進月間①

- 薬剤耐性 (AMR) に係る全国的な普及啓発活動を推進するため、平成28年度から毎年11月を「**薬剤耐性 (AMR) 対策推進月間**」に設定。(※WHOは、毎年11月中旬を「世界抗菌薬啓発週間」に設定)
- 「薬剤耐性 (AMR) 対策推進月間」では、政府機関だけではなく民間の様々な団体が一体となって、普及啓発に係る取組を重点的に実施。

## ＜薬剤耐性 (AMR) 対策推進月間 (11月) における各府省の取組＞

| 府省名            | 種別          | 内容   |
|----------------|-------------|--|
| 内閣官房           | イベント        | 第3回 薬剤耐性 (AMR) 対策普及啓発活動表彰式及び「薬剤耐性へらそう！」応援大使によるトークイベント(応援大使のJOYさん・篠田麻里子さん、ゲストの荒牧慶彦さん、AMEMIYAさんが出演)を開催(11/9) |
|                | ホームページ      | 上記「薬剤耐性へらそう！」応援大使によるトークイベント及びAMEMIYAさんの薬剤耐性オリジナルソングの動画を掲載予定(12月)   |
|                | 会議          | 第4回 薬剤耐性 (AMR) 対策推進国民啓発会議を開催(11/27)  |
|                | ポスター、デジタル広告 | 東京メトロ全駅にてポスターを掲示(11/8～11/14)<br>東京メトロ銀座駅構内にてデジタル広告(メトロコンコースビジョン)を掲載(11/11～11/24)                           |
|                | ロゴマーク提供     | 薬剤耐性対策のロゴマークを作成の上ホームページで公表し(8月)、普及啓発活動を実施している団体が幅広く活用できるようホームページで提供  |
|                | インターネット広告   | スマートフォン用ヤフーバナーで広告を掲載<br>フィーチャーフォン用の無料ニュースサイト「NEWS CAFE」で広告を掲載(10月)   |
|                | その他         | 賛同団体をとりまとめ・公表<br>ホームページ、電光掲示板、ポスター、ツイッター等で月間について周知   |
| 内閣府食品<br>安全委員会 | ホームページ      | 推進月間の周知、食品健康影響評価の進捗状況について掲載  |
|                | その他         | フェイスブック等で月間について周知  |
| 文部科学省          | その他         | ツイッター等で月間について周知  |

# 薬剤耐性 (AMR) 対策推進月間②

## < 薬剤耐性 (AMR) 対策推進月間 (11月) における各府省の取組 (続き) >

| 府省名   | 種別          | 内容   |
|-------|-------------|--|
| 厚生労働省 | ポスター、リーフレット | 人気アニメ「はたらく細胞」のキャラクターを起用したポスター、リーフレットを作成<br>JR渋谷、原宿、代々木、池袋、秋葉原、大阪の各駅や下記イベントでポスターを掲示するとともにイベント等でリーフレットを配布<br>※ポスター、リーフレットはAMR臨床リファレンスセンター情報サイトからダウンロード可能 |
|       | イベント        | 東京と大阪でイベントを開催(パネル展示、クイズラリー、「はたらく細胞」フォトスポットなど)<br>【東京】「WORKO!フェス2019」(朝日新聞社主催)にてブース出展(11/3)<br>【大阪】ディアモール大阪 ディーズスクエア(11/17、18)                          |
|       | 新聞広告        | 朝日新聞に全面広告(11/1)、小広告(11/12~18)を掲載   |
|       | 動画          | 「ママタス」とのコラボ動画を公開   |
|       | その他         | 「第3回 薬剤耐性(AMR)あるある川柳」を公募(11/1~11/30)   |
|       | その他         | フェイスブック、ツイッター等で月間について周知  |
|       | その他         | 普及啓発のためAMRに関する記事等をAMR臨床リファレンスセンター情報サイト上に公開し情報発信を継続   |
| 農林水産省 | その他         | 薬剤耐性ワンヘルス動向調査年次報告書2019の公表  |
|       | 通知          | 都道府県、生産者・生産資材・獣医師関連団体等に対して、推進月間の周知、昨今の薬剤耐性対策情報の提供  |
|       | ホームページ      | 薬剤耐性対策に係る農林水産省ホームページの一新<br>普及啓発ツール(ポスター、リーフレット等)の掲載  |
|       | その他         | 薬剤耐性ワンヘルス動向調査年次報告書2019の公表(厚生労働省と協働)<br>賛同団体に対して、普及啓発活動の推進を依頼<br>メールマガジン、ツイッター等で月間について周知  |
|       | イベント        | 医療分野の参画も得てAMR普及啓発イベント開催  |

# 第3回薬剤耐性(AMR)対策普及啓発活動表彰

## <表彰の概要>

(1) 目的: 薬剤耐性(AMR)対策の普及啓発活動の取組事例を広く募集し、優良事例を表彰することで、薬剤耐性(AMR)対策に係る自発的な活動を喚起奨励し、また、各分野における活動の参考となる事例を示すこと等により、薬剤耐性(AMR)対策の全国的な広がりを促進する。

(2) 応募対象者: 薬剤耐性(AMR)対策の普及啓発活動に取り組んでいる個人又は団体

## <第3回薬剤耐性(AMR)対策普及啓発活動表彰式>

○令和元年11月9日(土)14:00~15:00

野村コンファレンスホールにて開催。

○応募事例57件のうち、6団体を表彰。



毛利衛 議長



和泉洋人  
内閣総理大臣補佐官

### <<表彰対象事例:計6>>

#### ■薬剤耐性対策推進国民啓発会議議長賞

活動名称: AMR啓発グッズとラッピングバスを用いた市民啓発の取り組み  
応募者: 三重大学医学部附属病院 感染制御部

#### ■文部科学大臣賞

活動名称: 薬剤耐性をわかりやすくつたえる  
応募者: 大阪市立大学大学院医学研究科細菌学 金子 幸弘

#### ■厚生労働大臣賞

活動名称: 兵庫県の休日夜間急病センターにおける小児に対する経口抗菌薬適正使用に向けた取り組み  
応募者: HAPPY Trial Research Team

#### ■農林水産大臣賞

活動名称: 乳汁検査により耐性菌が出現した農場におけるテトラサイクリン系抗生物質の使用状況について  
応募者: 千葉県農業共済組合連合会紫葉会情報技術部会

#### ■「薬剤耐性へらそう!」応援大使賞

##### ○JOYさん

活動名称: 外来結核患者に対する耐性菌を出さない、服薬中断患者0を目指した取り組み  
応募者: 公益財団法人 倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 佐藤 可奈

##### ○篠田麻里子さん

活動名称: 小動物臨床現場でのAMR(薬剤耐性)対策活動  
応募者: 獣医臨床感染症研究会 VICA



### <<薬剤耐性(AMR)対策普及啓発活動表彰審査委員会委員>>

- 毛利 衛(委員長) 薬剤耐性(AMR)対策推進国民啓発会議議長、日本科学未来館館長
- JOY 「薬剤耐性へらそう!」応援大使
- 篠田 麻里子 「薬剤耐性へらそう!」応援大使
- 阿真 京子 一般社団法人知ろう小児医療守ろう子ども達の会代表
- 伊藤 羊一 ヤフー株式会社 Yahoo!アカデミア学長、グローバルビジネス経営大学院客員教授
- 栗本 まさ子 公益財団法人 日本乳業技術協会 代表理事
- 田中 里沙 事業構想大学院大学学長、株式会社宣伝会議取締役
- 矢野 晴美 国際医療福祉大学医学部 医学教育統括センター教授
- 安居 徹 内閣官房内閣審議官 国際感染症対策調整室長
- 増子 宏 文部科学省大臣官房審議官(研究振興局担当)
- 奈尾 基弘 厚生労働省大臣官房審議官(健康、生活衛生、アルコール健康障害対策担当)
- 神井 弘之 農林水産省農林水産政策研究所次長(兼消費・安全局)

※所属は令和元年10月2日時点

# 「薬剤耐性へらそう！」応援大使によるトークイベント

内閣官房国際感染症対策調整室  
Coordination Office of Measures on Emerging Infectious Diseases

## ＜トークイベントの概要＞

(1) 一般国民への普及啓発を推進するため、報道関係者の関心を高め、報道やSNS等を通じて、「薬剤耐性」について聞いたことがない人々の認知度を高め、ひとりひとりがとるべき行動について周知をする。

(2) トークイベント終了後、イベントの様子を動画で公開する。

政府インターネットテレビ、内閣官房国際感染症対策調整室のホームページ及びYouTubeアカウント

○ 日時： 令和元年11月9日(土)15:00～16:00

(第3回薬剤耐性対策普及啓発活動表彰式終了後にトークイベントを開催)

○ 場所： 野村コンファレンスプラザ日本橋6階 (来場者:約300名)

○ 登壇者:

・「薬剤耐性へらそう！」応援大使:JOYさん 篠田麻里子さん

・ゲスト:AMEMIYAさん(芸人)

荒牧慶彦さん(俳優)

大曲貴夫 先生

(国立研究開発法人国立国際医療研究センター

AMR臨床リファレンスセンターセンター長)



AMEMIYAさんによるオリジナルソング  
「薬剤耐性菌 増やしちゃってました」



# その他の国民向け広報の実績

## ○ポスターの作成及び東京メトロ全駅へ掲示

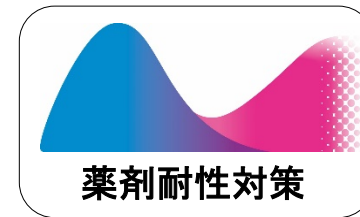


## ○デジタル広告(東京メトロ銀座線銀座駅)



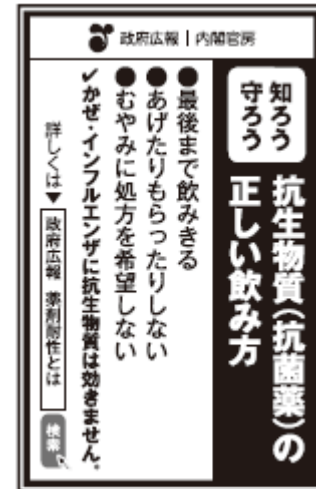
## ○薬剤耐性対策のロゴマークを作成し、普及啓発活動を実施している団体が幅広く活用できるようにホームページで提供

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/infection/activities/amr/logo.html>



## ○政府広報

- ・スマートフォン用やフーバーで広告を掲載
- ・新聞突き出し広告 等



## <今後の取り組み>

- 応援大使のトークイベント動画及び、AMEMIYAさんオリジナルソング「薬剤耐性菌 増やしちゃってました」の動画を、政府インターネットTV及びYouTubeで公開する予定(12月上旬)。

# 薬剤耐性に関する世論調査の実施

## 調査概要

- 調査名称 「薬が効かない(薬剤耐性)感染症に関する世論調査」
- 調査対象 全国18歳以上の日本国籍を有する者3,000人
- 有効回収数(率) 1,667人(55.6%)
- 調査期間 令和元年8月22日～9月1日
- 調査方法 調査員による個別面接聴取
- 調査目的 薬が効かない(薬剤耐性)感染症に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
  
- 調査項目
  - ・ 薬剤耐性の理解度について
  - ・ 薬剤耐性対策の理解度について
  - ・ 抗生物質の理解度について
  - ・ 抗生物質の服薬に関する意識について

<https://survey.gov-online.go.jp/tokubetu/tindex-r01.html>

※ 内閣府が実施する世論調査の付帯調査として実施。内閣府では、政府の重要背景等に関する世論調査を実施しているが、付帯調査は、通常の世界論調査の最後に5問程度付け加える形で実施するもの。



# 薬剤耐性に関する世論調査結果概要①

## ○ 薬剤耐性について

問 あなたは「薬剤耐性」についてどの程度知っていますか。この中から1つだけお答えください。

|            |       |
|------------|-------|
| ・知っている(小計) | 49.9% |
| ・よく知っている   | 18.7% |
| ・言葉だけ知っている | 31.2% |
| ・知らない      | 48.7% |

更問 (「よく知っている」、「言葉だけ知っている」と答えた方に) あなたは、「薬剤耐性」について、どのようなことを知っていますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答、上位3項目。)

|                                    |       |
|------------------------------------|-------|
| ・感染症を起こす菌に抗生物質が効かなくなる              | 75.6% |
| ・抗生物質を正しく飲まないと、薬剤耐性菌が体の中で増えるおそれがある | 53.7% |
| ・日本だけでなく、世界中で薬剤耐性菌が見つかっている         | 37.9% |

更問 (よく知っている「言葉だけ知っている」と答えた方に)、あなたは、「薬剤耐性」についてどこから情報を得ましたか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答、上位4項目。)

|              |       |
|--------------|-------|
| ・テレビ・ラジオ・新聞  | 49.9% |
| ・医師          | 29.4% |
| ・薬剤師         | 19.7% |
| ・書籍や雑誌などの出版物 | 18.8% |

# 薬剤耐性に関する世論調査結果概要②

## ○ 抗生物質の理解度について

問 あなたは、薬の分類の一つである「抗生物質」について、知っていることはありますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答、上位4項目。)

|   |       |
|---|-------|
| ・細菌が増えるのを抑える                              | 66.2% |
| ・ペニシリンは抗生物質の一つである                         | 42.6% |
| ・様々な種類があり、感染した細菌の種類や体の箇所などに応じて、使い分ける必要がある | 39.4% |
| ・風邪やインフルエンザなどの原因となるウイルスには効かない             | 37.8% |
| (参考)・名前を聞いたことはあるが、どういうものかは知らない            | 12.7% |

## ○ 抗生物質の服薬に関する意識について

問 あなたは、抗生物質が処方された時、医師や薬剤師の指示通りに、飲む量、回数、機関を守って飲むことを意識していますか。この中から1つだけお答えください。

|                                  |       |
|----------------------------------|-------|
| ・医師や薬剤師の指示を常に守って飲むことを意識している      | 82.0% |
| ・指示通り飲まないことがある(小計)               | 13.0% |
| ・医師や薬剤師の指示を守るよう意識しているが、できないこともある | 9.5%  |
| ・自分自身で判断して、医師や薬剤師の指示を守らないことがある   | 2.8%  |
| ・医師や薬剤師の指示を守ることを意識していない          | 0.7%  |